

科目区分	専門教育科目	科目名	保育実習Ⅲ		科目コード	18Y760	担当者	島田 幸一郎			
対象学生	幼児教育学科 2年生		学期区分	通年	単位数	2	担当形態	単独			
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件	選択				
						免許・資格要件	保育士選択必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
保育実習Ⅰを踏まえ、家庭と地域の生活実態に触れて、児童家庭福祉及び社会的養護に対する理解を深める。その上で、児童福祉施設（保育所以外）における家庭支援のための知識・技術などを具体的に学び、保育士としての自己課題を明確にする。						1. 「 尽心 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現考・創判造断力	⑤ 実行体力性・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	子どもや利用者への支援の方法・技術を実践する。					◎	◎	◎	○	◎	○
2.	施設の地域社会における役割と機能を理解する。					◎	◎	◎	○	◎	○
3.	家族関係の調整・保護者支援の現状を知る。					◎	◎	◎	○	◎	○
4.	異なる職種との連携・協働の重要性を理解する。					◎	◎	◎	○	◎	○
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						受講態度（50%） 実習先の評価（40%） 実習の記録（10%）					
保育所以外の児童福祉施設及び障害者施設での学外実習をおこなう。											
準備学修						課題等への対応					
保育実習Ⅰで学んだことを整理しておく。						実習後に全体指導（実習報告会）や個別の事後指導をおこなう。					
授業計画											
<p>実習機関：2年次 9月 10日間</p> <p>施設で子どもや利用者と一緒に生活をし、食事や身の周りの支援をおこなう。また、生活支援や各種作業を共にすることを通して、子どもや利用者の実態の理解や支援の方法・技術を学ぶ。</p> <p>(a) 現場における基本的な勤務態度や姿勢を学ぶ。 (b) 実態に応じた働きかけの姿勢や支援技術を学ぶ。 ・集団への働きかけ（集団の把握） ・個々への働きかけ（個別への対応） ・居室内の整備 ・職員間の協力・連携など (c) 記録の書き方を学ぶ。 ・子どもや利用者との関わりの振り返り (d) 施設の役割と機能について理解する。 ・保護者支援 ・施設の地域における役割</p> <p>10月 実習記録、実習報告書の提出</p>											
試験	定期試験を実施しない										
教科書	「教育・保育実習の手引」 「実習記録ハンドブック」				受講生へのメッセージ	施設で生活する子どもや利用者の心情及び実態の把握に努め、個に応じた支援技術の重要性を理解してください。併せて、施設の社会的役割についても理解を深めてください。					
参考書等	なし										